

アメリカの健康指針 2020

アメリカ人の今後20年間にわたる健康づくりをまとめた「ヘルシーピープル2020」が米国保険社会福祉局(HHS)より発表されました。10年ごとに見直している健康施策です。

この施策は1979年より、国を挙げてアメリカ国民の健康づくりに着手したもので、健康向上、疾患予防に乗り出し、乳児から子供、未成年者、成人、高齢者にまで照準を合わせたきめ細かい国としての指導方針を定めています。しかし、水準を高くしすぎた2010年版は達成度が低く、それを教訓に20年版は現状に即すような目標設定になっています。そして、定期的に目標と現実とのギャップをチェックして改定を加えるようになっています。

「この施策はアメリカ国民の健康、寿命、生活の質を向上させる上でのロードマップ、あるいはコンパスのような役目を果たしている」とHHSでは評価しています。

しかし、何かにつけて、ロードマップの誘導があっても目標地点にはなかなか到着は出来ないのが現実のようです。例えば去年12月に公表した統計によるとアメリカ人の平均寿命は07年の77、9歳から08年には77、8歳とわずかでも下がっています。それに引き替え日本では13年に発表した平均寿命は男80、87、女86、61歳で別表の通り、何が日本人の平均寿命の向上につながっているのかは、国挙げての努力でもないのと思ってしまう。総合的にはHHSは10年の目標達成度はわずか19%とみています。低かった理由は余りに野心的な目標値設定にある、と指摘しています。例えば「肥満」については00年にはアメリカ人の25%が肥満とみて10年までに15%に削減するという目標を掲げましたが、実際には肥満人口は34%に増えていました。何を持って肥満とするかも大きな問題ですが、20年の目標は肥満目標を30、6%としました。目標を下げれば達成度は50%を超えることとなります。

次はがんの死亡率について見てみると10年の目標値は10万人対して158、61と設定しましたが、達成しなかったので20年版では160、6人に目標値を下げています。

脳卒中については10年版の目標は10万人につき50人、

■平均寿命の上位5カ国・地域

男性		女性	
香港	80.87歳	日本	86.61歳
アイスランド	80.8歳	香港	86.57歳
スイス	80.5歳	スペイン	85.13歳
日本	80.21歳	フランス	85.0歳
シンガポール	80.2歳	スイス	84.7歳

〔厚生労働省の資料から。日本は13年、ほかは一部13年より古いものもある〕

平均寿命の上位5カ国・地域

これは1999年の統計では62人だったので、20年版では33、8人にしています。

禁煙については10年版が18歳以上の総人口の12%としたのに対し、20年版も12%に設定。無理はしない控えめな目標といえます。

10年版にはなかった追加された目標には「思春期の健康」「血液疾患と血液の安全」「アルツハイマー症を含めた認知障害」「小児期の初期と中期」…「看護関連の感染症」「同性愛者・バイセクシュアル・性転換者の健康」等々、アメリカらしい健康指針を立てています。さて、日本はどうするのか、アメリカを超えて、どうか、住みよい国、幸せな国として国民の健康指針を独自に開発し、推進して欲しいものです。

エボラ出血熱 と デング熱

このところ聞き慣れなかった病名がテレビや新聞などで毎日のように伝えられ、その怖さが喧伝されています。マスコミによる耳知識であらかたご存じの向きが多いと思いますが、おさらいをしておきます。

エボラ出血熱—致死率は最大で90%とされていますが、目下、西アフリカで史上最大の猛威を振るっています。現地との関わりが少ないので日本への上陸リスクは低いと言われてはいますが、用心に越したことはありません。WHO(世界保健機構)によればこれによる死者は1100人に上りました。中国政府は真剣です。何せ、ギニア、リベリア、シエラレオネの西アフリカには2万人の中国人が居住していて(日本人は100人くらい)、現場労働者だから行き来するので、本国へ持ち込む恐れが大きい。この感染源は「コウモリ」で、接触しても危険だというのは中国人はこれを食う習慣がある。

デング熱—東京の代々木公園で蚊に刺された人が感染したというので、代々木公園が一躍有名になりました。デングウイルスが蚊を媒介して人に移るものです。急性の熱性感染症で発熱、頭痛、筋肉痛や皮膚の発疹などが主な症状です。東南アジア、南アジア、中南米、台湾などで多くの患者が報告されています。媒介する蚊は熱帯シマカ(日本には常在していません)。ワクチンや特效薬はありませんので、対処療法となります。体内からウイルスが消失すると症状も消えます。稀にウイルスが居残ると危険がありますので要注意です。

《あとがき》 1) 今年もインフルエンザ予防接種が始まります。昭和24年12月31日までに生まれた方。接種期間10月1日~12月31日。(一人1,800円) 詳しくは罹りつけの医院に。 2) 当院、ミニギャラリーは岡見昇さん(小浜市甲ヶ崎)の油絵です。